鹿児島市立桜丘中学校
令和4年3月25日

第12号

ポットの種の大きな花 ＝ 卒業生への祝福

校長　上久保大介

花を育てるとき，普通は**大地に種**を植えますが，慣れた人は**小さなポットに種**を植えます。“大地に植えられた種”は，栄養をたくさん吸収し，のびのびと育ちます。それに対し，“小さなポットに植えられた種”は，養分の少なさに**気づき**，慌てて**根を張り巡らせ始めます**。やがて**根はポットの中いっぱいに広がります**が，その**窮屈さにストレス**を覚え思うように育つことができません。しかし**大きく育ちたいという夢**だけは失うことはありません。“大地に植えられた種”は，不安なく育ちますが，やがて頑張らなくても養分をもらえることに気付き，少しずつ，**ぐうたらな性格**になっていきます。そうやって成長した“大地に植えられた種”は，自分が**油断していることに気付かず**、花を咲かすことに対しても**意欲を失っていきます**。一方，“小さなポットに植えられた種”は**これ以上は無理**と言うくらいポットの中いっぱいに根を張りますが，状況は変わりません。花を育てることに慣れた人はそのタイミングで，大地に植え替えてあげます。突然苦しい環境から解き放たれた“小さなポットに植えられた種”は，これまでのストレスを発散するかのように，**張り巡らせてきた太くて丈夫な根を土の中いっぱいに伸ばします**。それはまるで背伸びをしているかのようです。体の中にはスポンジのように**多くの養分**が流れ込み，“小さなポットに植えられた種”は，**目を見張るほどの成長**を始めます。

やがて“大地に植えられた種”から育った**ひ弱な花**の隣には，“小さなポットに植えられた種”から育った**立派な花**が誇らしげに咲くことになります。

３月１５日(火)第４２回卒業式が行われました。今年の卒業生は１年生の３月からコロナ禍の中での中学校生活を余儀なくされてきました。**多くのストレス**を抱え、**多くの犠牲**を払い、それでも**努力を惜しまず**、中学校生活を意義あるものに変化させ、成長してきました。皆さんが張り巡らせてきた根は、必ずこれからの人生に恩恵を与える吸収剤として、皆さんの役に立ってくれるはずです。**「あなたの無限を信じて力強く歩いて行ってください。」**（卒業式式辞より） 大地となる桜丘中学校では、１・２年生が成長する準備をしています。校内では温暖化で開花が早まった**桜**が“**寒さ**”**というストレス**を乗り越え、ポッポッと、ポップコーンがはじけるように咲き始めています。

今年も**保護者や地域の皆様**には光となり、影となりあらゆる面でご協力をいただき**感謝申し上げます**。令和３年度が終わり、やがて令和４年度が始まります。これからも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。